

第2回四日市市中心市街地活性化推進方策検討会議 意見まとめ

■前提

- ・総合計画及び推進計画（H26～28）で図書館の基本構想を策定することを位置付けている。
- ・経済界等からの要望活動など民間からも中心市街地・商店街の活性化に公共施設の立地が求められている。

■テーマに関すること

ムズムズ、ワクワク／楽しい、面白い／市（四日市ならではの）

■ハード・ソフトに関すること

	既にある・行われている	問題・課題	他都市事例
ハード	<p>○30万都市で公共施設・機能はそこそこ備わっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館 ・文化会館 ・すわか交流館 ・博物館 ・公害と環境未来館 ・四十三（よそみ）茶屋 ・商店街 ・ムーシケ（270席の民間ホール） 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ、場所、市民を交えた運営などが課題。 ・10年、20年先を見据えた公共施設のあり方 ・都市軸としての中央通りの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・せんだいメディアテーク（「メディア」をコンセプトに地域を巻き込みプログラムを展開） ・アオーレ長岡（なかどま） ・武蔵野プレイス（4つの機能を指定管理者が一括管理、若者や高齢者の居場所） ・ぎふメディアコスモス（図書館中心に学校連携等々、図書館館長を公募） ・森の交流館・十勝（森の再生、市民活動、海外からも来る研修施設）
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・「市」 ・JAZZ フェスティバル ・昔の映画の上映 ・映画祭準備委員会 ・こども四日市 ・毎日がバーベキュー（南勢・産地と商店の連携） ・まちなかサポートステーション（商店街に設定、若者の就労支援） ・あすなろう鉄道（ナローゲージ） ・酒盛り場としてのにぎわい（商店街） 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の中でもカフェの併設など「中身の緩さ」「気軽に利用できる」 ・ネットライフサポート ・居場所、世代ミックス ・教養（リタイヤ層の活用） ・くすのきパーキング上部の活用 ・花と緑（農芸高校、市民の参加） ・港との連携、2つの文化財周辺の魅力化 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちライブラリー（全国どこでも図書館） ・魚沼市小出郷図書館（中心市街地の空き店舗を図書館に） ・岡崎のJAZZストリート（企業からの場の提供） ・栄ミナミ音楽祭（1年かけて準備、将来の街のあり方を地元が検討）